

平成 30 年 9 月 13 日

平成 30 年 8 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は住宅関連向けチラシと塾関連テキストまた遅れていた手帳・カレンダー等の荷動きが活発に推移し、前年を上回った。

（前年比 103.6%）

巻取は生損保・共済・金融目論見関連とオンデマンド・ポスティング用途の仕事が好調に推移し、前年を大幅に上回った。

（前年比 113.2%）

再生紙平判は小ロット物件で前年並みの動きが見られたものの、部数の減少が目立ち前年をやや下回った。巻取は官公庁関連の大口の仕事が前月に集中した為、目立った仕事が見られず前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 94.2% 再生上質巻取 59.2% 再生上質計 76.1%）

（前年比 印刷用紙 A 105.6%）

<A2 コート>

平判は金融、生保関連等で動きがあり、グロス紙を中心に前年を上回った。

巻取はエンタメ系で目立った動きがあり、また生損保関連、目論見書等とチラシが堅調で平判同様グロス紙を中心に前年を上回った。

（前年比 平判 100.9% 巻取 101.5% 全体 101.0%）

<A3 コート>

学習塾、量販店、不動産等で動きがあったものの、全体的な仕事の減少傾向により前年を下回った。

（前年比 平判 90.5% 巻取 100.7% 全体 97.0%）

<ノーカーボン紙>

歳末帳票及び生損保関連の動きは見られたが新規案件等の動きが弱く低調に推移し、巻平共に前年を下回った。

（前年比 平判 95.3% 巻取 91.5%）

<上質フォーム>

新規案件等の取り込みはなかったものの金融関連の動きがあり、前年をやや上回った。

（前年比 102.4%）

<包装用紙>

特殊両更は金融関係、役所関係の封筒の需要があり昨年を上回った。

(前年比 105.8%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途や手提袋用途で一部動きがあったものの前年を下回った。

(前年比 98.5%)

片艶晒は専門店や駅中での手提袋用途がインバウンド需要により動きが好調で前年を上回った。

(前年比 103.8%)

色クラフトは共済会健保向け封筒で動きがあり昨年を上回った。

(前年比 100.5%)

両更晒は高額商品向けの手提袋用途や金融関係の封筒で動きがあったが、全体を押し上げるには至らず前年を大きく下回った。

(前年比 90.0%)

包装紙全体では、97.8%と前年をわずかに下回った。

<板紙>

昨年同様8月の天候不順で行楽地の土産物や冷蔵等の季節商品は振るわず、POP等特殊板紙はいまだ低迷しているが、化粧品、医薬関連は堅調に推移し昨年並みとなった。

(前年比 100.8%)